

tim PRO®

ダブルダイヤフラムポンプ

1 インチ

最大150 L/分

tim® TRON
未来への準備



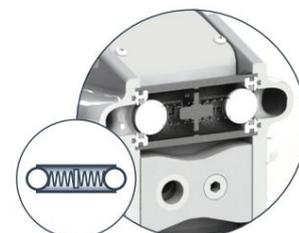
ステンレス鋼
(VA)



www.timmer.de/en/timpro



統合インテリ
ジェントセンサー
(iHZ)



バネ式バルブボール

tim®PROシリーズポンプは、印刷機械業界および塗料供給部門において、長年にわたりプロセスポンプおよび移送ポンプとしてご愛用いただいております。

これらのポンプは、圧縮空気消費量が非常に少なく、脈動が少なく、優れた洗浄能力、プロセス信頼性、長寿命、メンテナンスの容易さ、優れた仕上がり、そして小型でコンパクトな設計といった特長を備えています。

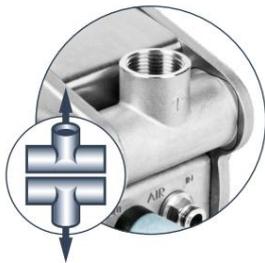
これらのモデルにはインテリジェントセンサーが搭載されており、お客様のPLCを介してストローク信号をリアルタイムで監視できます。

tim®LINKモジュールを接続することで、収益性、プロセス信頼性の向上、予防保守の促進に役立つ多くの便利な新機能をご利用いただけます。

tim®LINKモジュールをお客様のシステムに組み込むだけで、これらのメリットを享受いただけます。

この点に関するすべての情報は、tim®TRONの章に記載されています。

オプション



インラインバージョン

MEM1150I

付加価値



圧縮空気コストの削減

デッドスペースが最小限に抑えられた最適化された形状と、0.7 bar から始まる極めて低い始動圧力により、エネルギー消費が最小限に抑えられます。



最小脈動

ポンプのショートストローク原理と連動した最短の切り替え時間により、脈動が最小限に抑えられ、より均一な媒体の流れが確保されます。



プロセス監視

内蔵のインテリジェントストロークセンサーは、プロセスの信頼性を高めるための幅広いオプションを提供します。メンテナンス間隔を正確に決定できるだけでなく、リアルタイムのデータ出力により、プロセスの現在の状態を把握することができます。



最小限の運用および保守コスト

低摩擦セラミックスライドバルブとメンテナンスしやすいポンプ設計により、非常に低い保守コストを実現します。

さらに、ショートストローク原理により、ダイヤフラムの過剰な伸張が防止され、耐用年数が大幅に長くなります。



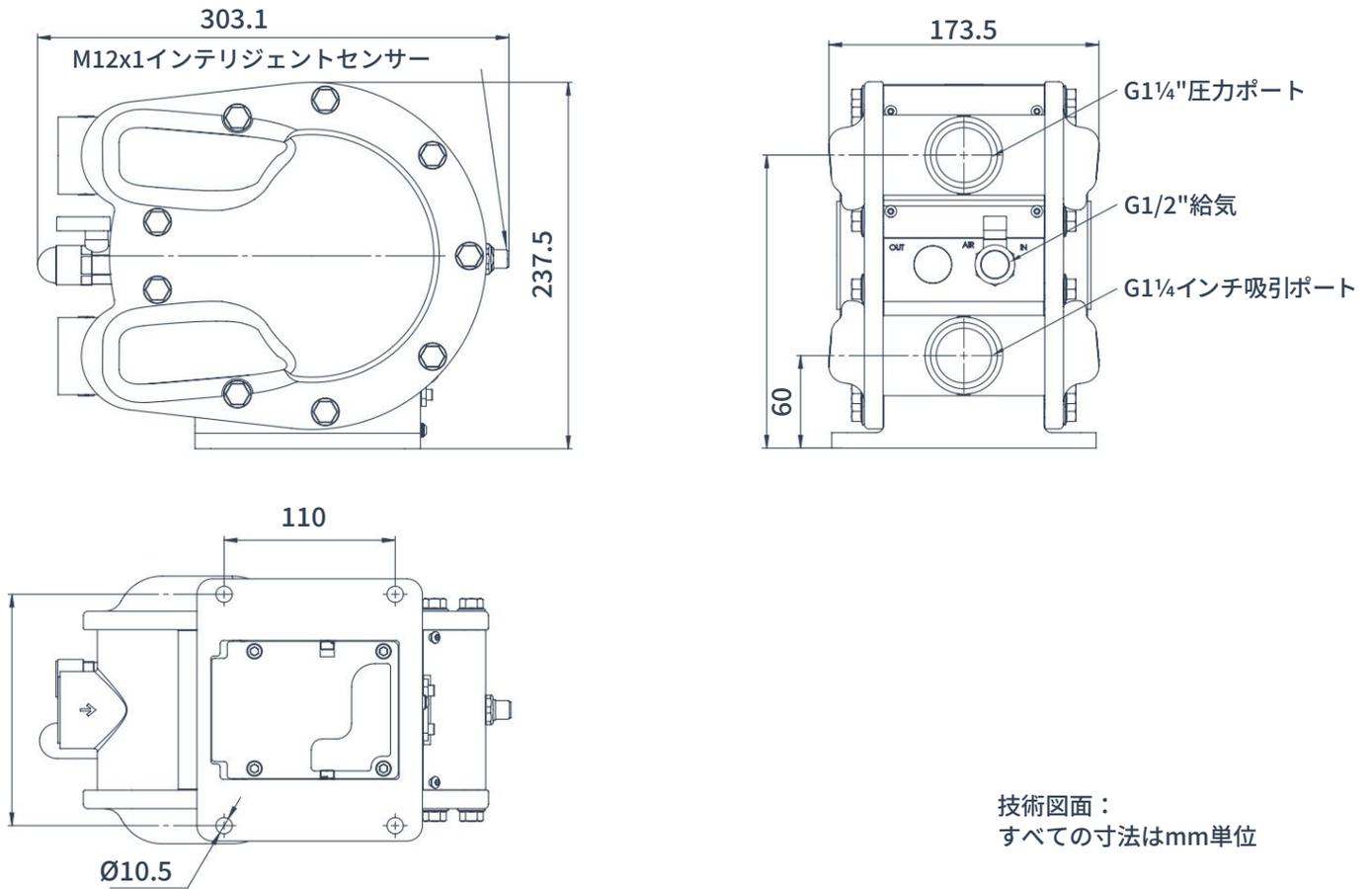
始動時の安全性

危険な運転状況下でも、ポンプの安全な始動が保証されます。双安定ラッチングバルブは、制御弁の中間位置における問題の発生を防止します。



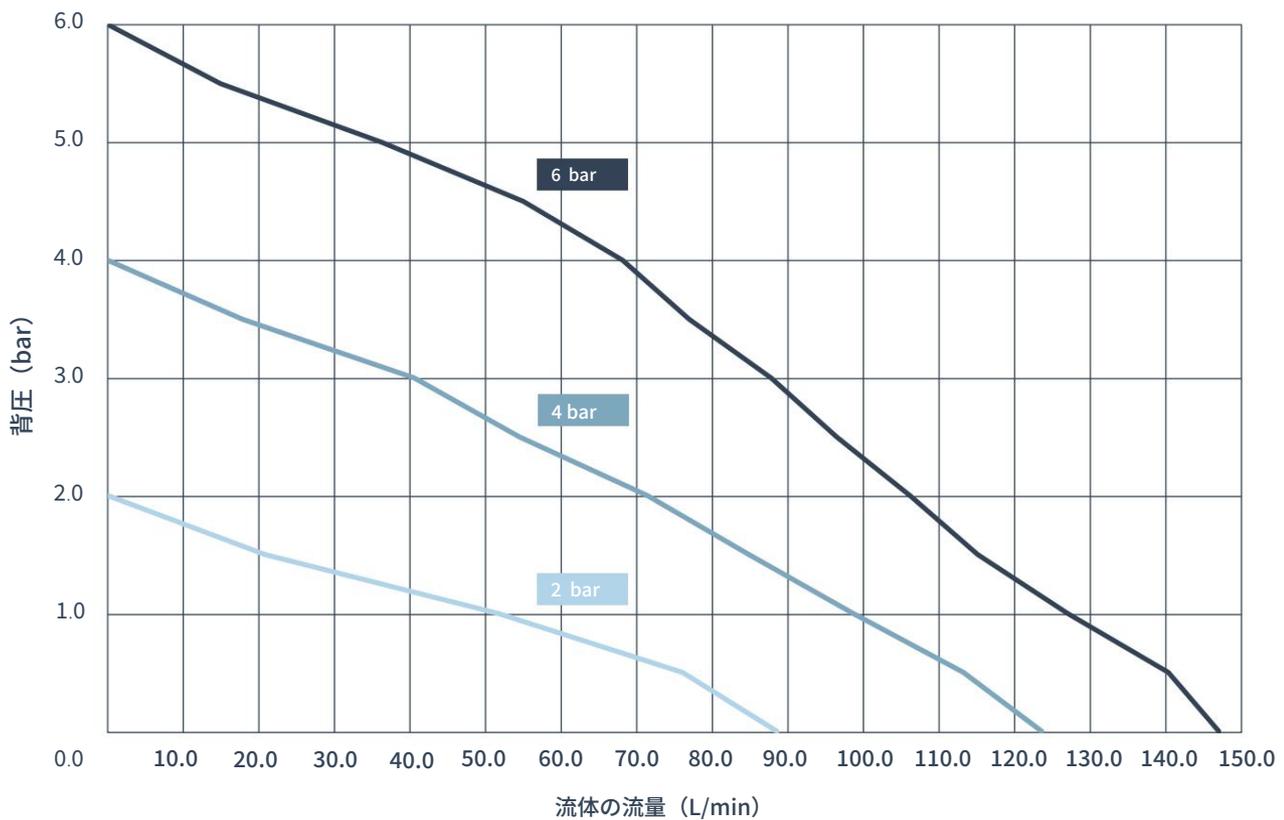
コンパクトなデザイン

最適化されたバルブ技術により、極めてコンパクトな設計を実現しました。これにより、新規システムの設置スペースを大幅に削減でき、既存システムへの後付けも問題なく行えます。



技術図面：
すべての寸法はmm単位

液体供給量



プレミアムダブルダイヤフラムポンプ PTI-MEM1150

注文番号	タイプ		アライメント 吸引パイプ	アライメント 圧力パイプ	マテリアル デザイン	ATEX
53507704	PTI-MEM1150-VA-TF-VA-VA-Viex-AL-iHZ		フォワード	フォワード	ステンレス鋼	✓
53507755	PTI-MEM1150I-VA-TF-VA-VA-Viex-AL-iHZ		下向き	上向き	ステンレス鋼	✓

技術データ

変速比	: 1対1
流量 (最大)	: 約 150 L/分 (水使用時) PTFE複合ダイヤフラム使用時
ドライブ	: 空気圧式
流体接続口	: G 1 ¼インチ内ネジ、90度回転可能
作動圧力	: 1~8barの圧縮空気、ろ過済み、オイルレスまたはオイル入り
圧縮空気接続口	: G 1/2インチ
吸引高さ、乾燥時	: 最大 4 m
重さ	: 約 15 kg
移送媒体の粘度	: 最大 15,000 mPas
流体温度	: 最大 + 65°C
ノイズレベル	: 68 dB (A)
ダブルストローク/秒	: 最大 7
防爆認定	: ATEX (詳細はマニュアルを参照してください。)

追加バージョン
リクエスト

材質

サイドカバー	: ステンレス鋼
ミドルハウジング	: アルミニウム
流体側シール	: FEPM
空気圧側シール	: NBR
バルブボールシール	: ステンレス鋼
バルブボール	: ステンレス鋼
ダイヤフラム	: 複合材質としてPTFE/NBR
制御弁	: セラミックフラットスライドバルブ
ネジ	: ステンレス鋼
カバープレート	: ステンレス鋼
メディアパイプ	: ステンレス鋼
スプリングス	: ステンレス鋼

メディア

このポンプは、様々な流体（媒体）の移送に適しています。移送する媒体に対する耐性は、ケースバイケースで確認する必要があります。

お客様の特定の用途への適合性については、喜んでアドバイスさせていただきます。